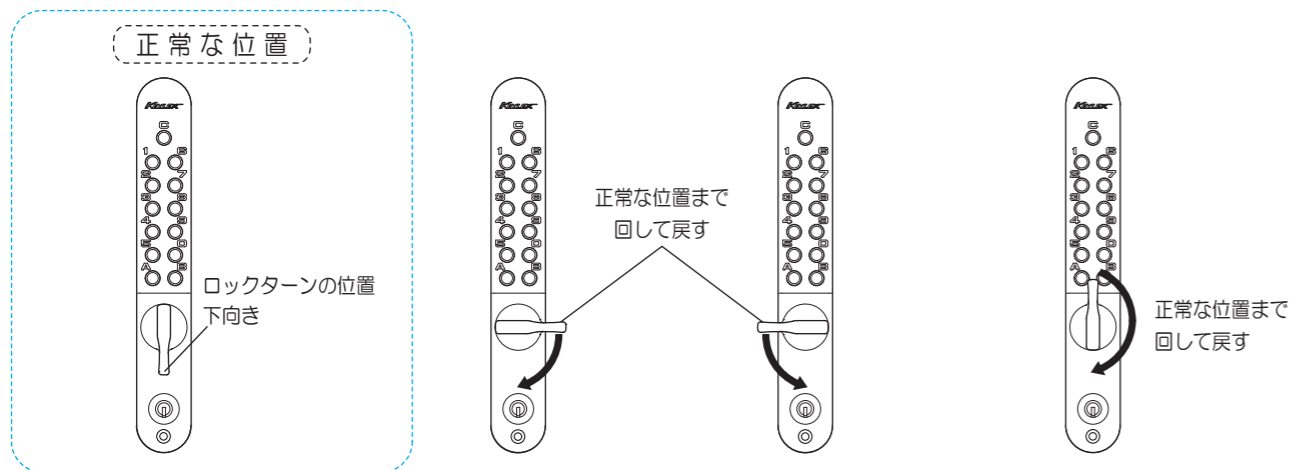


ロックターンの位置が正常でない時

ロックターンの位置が、下図になった時は、正常な位置（下向き）に戻します。

ロックターンの『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にロックターン操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、ロックターンが空転して、右・左・上向きでとまります。故障ではありません。



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス 800 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付環境
 - 引戸クローザー併用時は、5N 以上の引込力が必要です。
- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意
(故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - 鎌デッドを突出させた状態で引き戸を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



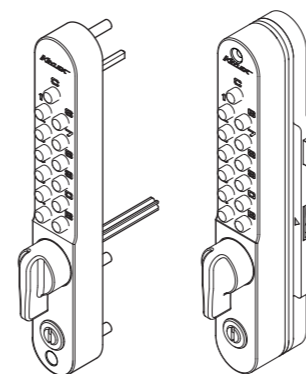
取り付けである建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX 800[®]

キーレックス 800
面付引戸自動施錠
両面ボタンタイプ

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



K868T
K868TM
K868TL
K868TG



防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

ご使用前に確認してください。

- 登録している記憶番号
- ロックターン（サムターン）は下向き
- 鎌デッドが飛び出していない
(飛び出している場合は、ロックターンを操作して、鎌デッドを正常位置に戻す)

※ 鍵付タイプ（品番末尾 M）の場合は記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも解錠できます。

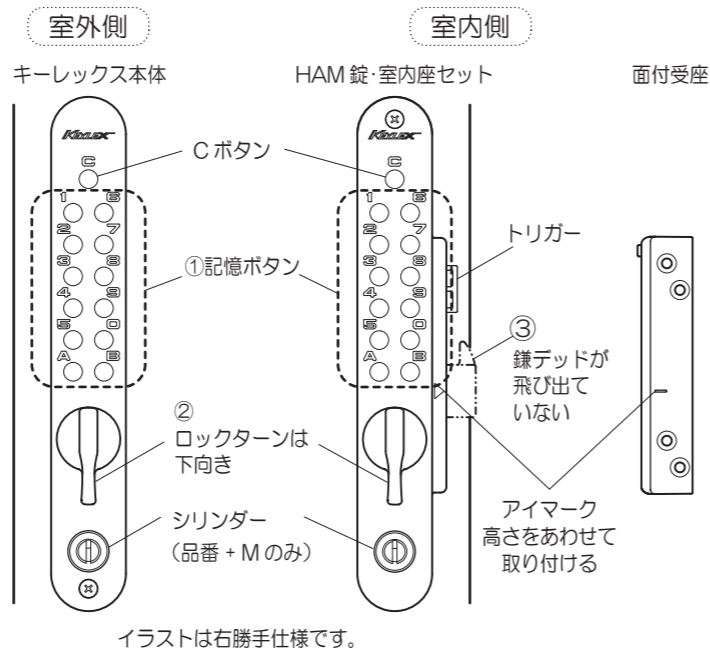
I：キーをシリンダーに入れ回す。

(HAM 錠が解錠します)

II：キーを抜き、引き戸を開けます。

(再施錠するまで解錠状態)

入退室後は必ず引き戸を閉めてください。



施錠・解錠方法

施錠

- 引き戸を閉めると、自動で施錠されます。

解錠

- C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます。
- 正しい記憶番号を押します。
- ロックターン操作で解錠できます。

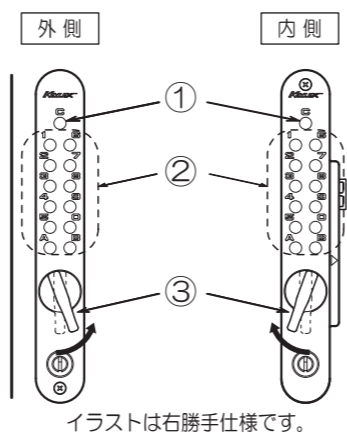
※扉の開閉は、戸引手やハンドルなどで行ってください。

キーレックス側面やロックターンによる扉の開閉は取付位置ズレによる作動不具合の要因となります。ご注意ください。

【鍵付タイプ】

シリンダーにキーを入れ回すことで解錠します。必ずキーを抜いてから戸を開けてください。

解錠操作

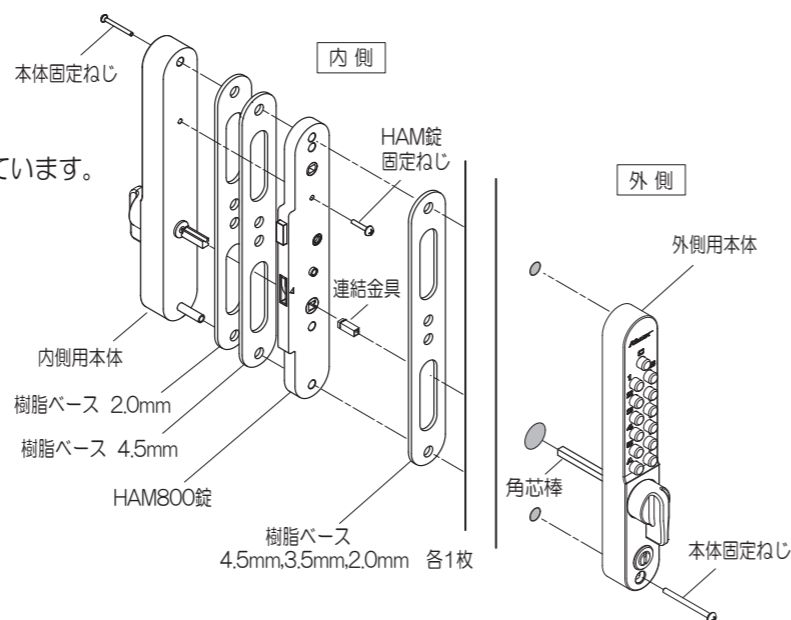


キーレックスの取外し手順

- 外側本体、内側本体の本体固定ねじ 2 本を外し、外側、内側本体を、落とさないように外します。
※樹脂ベースは必要に応じて使用しています。

- 内側用本体は HAM800 錠と組み合わせて固定されています。

HAM 錠固定ねじと連結金具を取り外すことで内側本体だけを脱着できます。



記憶番号の変更手順 引き戸は開けたままの状態でおこないます

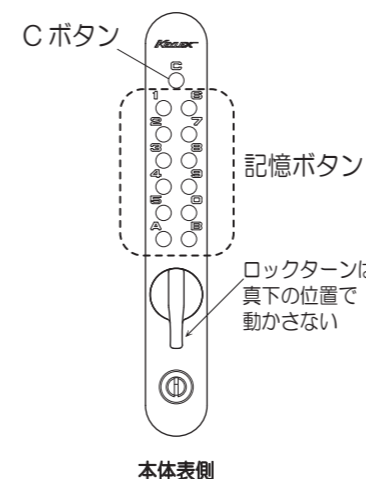
【記憶番号変更の準備】

- 本体表側の C ボタンを押します。

⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

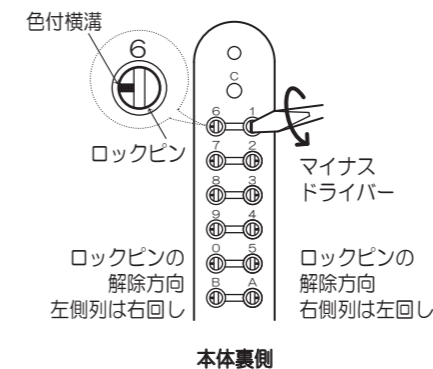
- 本体を裏返します。



本体表側

【現在の記憶番号を解除】

- 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。(ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる)



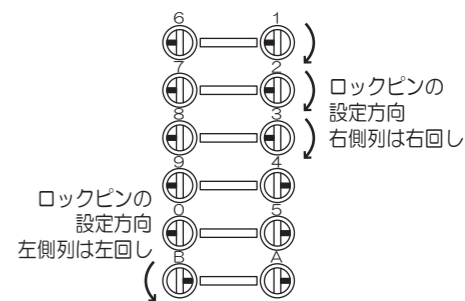
本体裏側

- 本体を表側にします。C ボタンを押し、ロックターンが動くことを確認します。

【記憶番号の設定】

- 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。

例：B 1 2 3

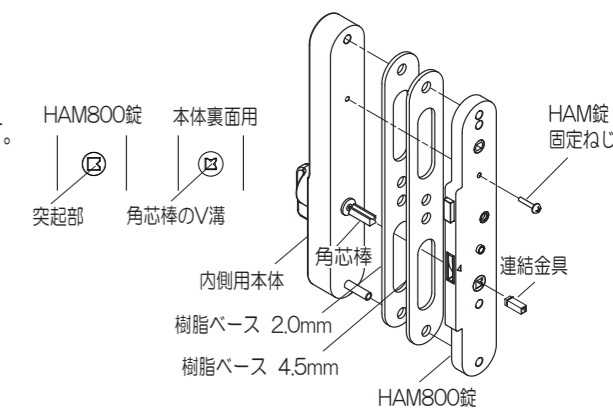


- C ボタン + 新しい記憶番号を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

キーレックスの取付手順 引き戸は開けたままの状態でおこないます

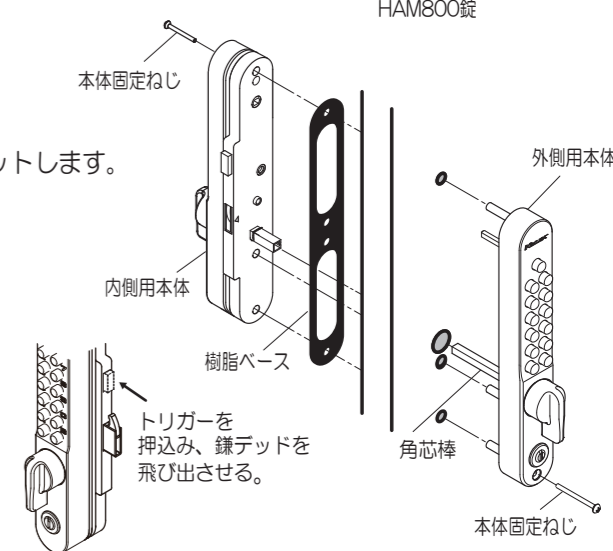
【内側用本体と HAM800 錠の組合せ】

- 内側用本体の裏面に樹脂ベース 2.0mm と 4.5mm 合せます。
- 内側用本体の角芯棒の V 溝を HAM800 錠の突起部にあわせてセットします。
- HAM 錠固定ねじで固定します。
- HAM800 錠から飛出ている角芯棒に連結金具の凹み面を横向きにして差込みます。
※連結金具はリングのついている方を角芯棒側に向けます。



【扉への取付】

- 外側に 外側用本体を引き戸にセットします。
- 内側から使用している樹脂ベースを合わせ室内用本体の角芯棒に差込みした連結金具の凹み部と角芯棒の V 溝をあわせてセットします。
- 本体固定ねじ 2 本で固定します。



【作動の確認】

- HAM800 錠のトリガーを押込み、鎌デッドを飛び出させます。
- 解錠操作をおこない、鎌デッドが引き込むことを確認します。
鍵付の場合はキー操作でも解錠することを確認します。
- 解錠操作に問題ないことを確認した後、扉を閉めた状態で解錠操作をおこない解錠することを確認します。